

農大の価値を

高めるブランド化
農大「新・ロゴマーク」の制作

本校は、平成28年4月に林業経営学科を新設して7学科となり、「農林大学校」への校名変更に伴い、「新・ロゴマーク」を制作しました。

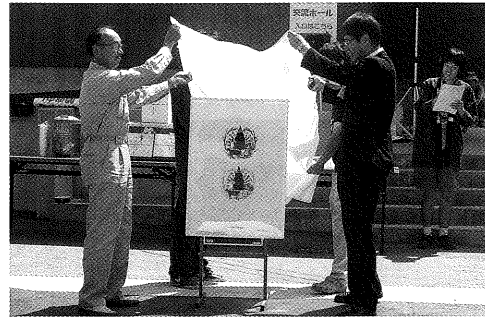


新・ロゴマーク

このロゴマークは、栽培方法や出荷規格、原材料などの基準を満たした高品質な農産物や農産加工品を「農大ブランド品」として表示する際に利用するほか、様々な情報発信で農大のイメージアップに活用しています。

このデザインは、本校の学生や職員から募集した23点の作品の中から、投票及び審査によって選ばれた作品をデザイン原案とし、地元のデザイナーの協力により平成28年6月に完成しました。

第1回農大市場の開会式で発表するとともに、デザイン原案を制作した学生を表彰しました。



第1回農大市場の開会式で発表

農大の若手同窓生による
「農大市場トライアル販売」
の開催

この取組みは、農大卒業後5年以内の若手同窓生が、農産物や農産加工品を「農大市場」でトライアル（試み）販売することで得られた情報をもとに、売れる商品づくりに取り組み、経営拡大できるよう支援するものです。今年度から始まり、6月～11月に5回開催しました。

今年は若手同窓生9名が参加し、品揃えの充実を図り、魅力的な商品構成となるよう、

先輩や同級生と組んで4店舗出店しました。各店ともPOPや商品陳列に工夫を凝らし、試食品を準備しながら販売しました。

将来は「農大市場協力会」のメンバーになり、在校生や後輩のお手本として末永く参加していただけることを期待しています。来年度も開催しますので、若手同窓生の参加をお待ちしています。



POPや賞品陳列に工夫をこらして出店



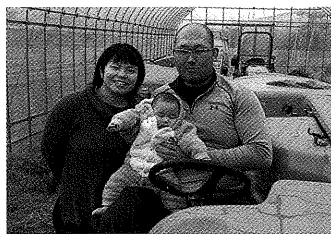
會員のあゆみ

就農四年目を終えて

天童市 山澤 太一

（平成24年度卒業）
私は農大を卒業したあとと就農しました。我が家では水稲12haと果樹3haを栽培しています。私はその中でもりんごとスモモを担当しています。

見た目・味ともに高品質なものを栽培できるように日々取り組んでいます。高品質なものを栽培するために地元で立ち上げた青年部に入り、研修会にも積極的に参加して先輩農家さんからたくさんアドバイスをいただいています。



また、学科の先輩や同級生と楽しい食事をしながら栽培や経営についての意見交換をしています。学生時代にできた先輩や同級生と交流があるのでもこれからも大事にしていきたいです。

一昨年、農大の同級生だった妻と結婚して、昨年第二子が生まれました。子供の顔を見るたびに「頑張ろう!!」という気持ちになり、今までよりも仕事に熱が入るようになりました。わが子の力は偉大です。

農業女子として

高島町 佐藤 綾香

（平成26年度卒業）

就農してから、早二年がたちました。私は昨年の三月、農業に携わる高島町の女性で結成された「AneChan」というグループの一員になりました。

グループを結成し、初めに行ったことは農業イベント開催です。衰退していく農業を女性の手で盛り上げたい、という思いから女性の目線で考えられたイベントです。皆さん仕事で忙しい中、何度か何度も会議をかさね十月に無事開催することができました。来て下さったお客様からは「来年も再来年もずっと開催してほしい」という嬉しい言葉をいただきました。高島町の農業を少しでもアピールする場にできて開催して本当に良かったです。まだまだ課題は残りましたが、さらに会議を重ねて農業を知ってもらうために頑張りたいと思います。

今年は、自分の栽培スキルを向上させるとともに、さらに高島町や農業について知ってもらい、就農者が増えてほしいです。

